

# 高山信用金庫

高山市・金融機関

従業員数 / 男性128名 女性112名 計240名 ※令和7年11月現在

エクセレント  
POINT

- ①一般職から総合職への登用を推進
- ②服装の選択肢を増やし、職場環境を整備
- ③異業種への出張型研修で、広い視野を育む



預かり資産販売のプロジェクトチーム「TASSα」の会議の様子。活発な議論が続く。

誰もが活躍できる職場づくりを進めている高山信用金庫。女性活躍の推進として、女性の一般職から総合職への登用を積極的に進めており、総合職に転換した女性職員の数は、2021年度からの5年間で14人に上る。女性だけのプロジェクトチームも立ち上げ、勉強会や企画立案で力を発揮している。26年6月に迎える創立100周年

## 服装規定を改め、明るく働きやすい職場に

記念事業や、預かり資産販売などのプロジェクトチームでも女性職員が生き生きと活躍している。

服装においても働きやすさを追求。6～9月はクールビズ期間として、従来の制服や背広・ワイシャツではなく、全4種類のオリジナルポロシャツを着用して勤務できるようにした。靴についても、女性職員はこれまでヒールの低いプレーンパンプスの着用をルール化していたが、「#KuToo」運動の広がりや健康増進の観点から、黒色のサンダルの着用も認めた。現在では内勤女性の8割ほどがサンダルに変更。「外反母趾や痛みに悩まなくても良くなった」などの声が上がると、髪の毛やアクセサリー類の着用、ネイルについても一定の範囲内で認めるところ、明るい雰囲気職場づくりにつながった。

人材育成に向けては、金融業務



クールビズ期間中にオリジナルポロシャツを着て接客に当たる女性職員。カラフルな色合いから、明るい雰囲気の職場づくりにつながっている。

だけでは得られない広い視野を育み、人間性を高めるため、異業種への出張型研修「たかしん未来創造大学」を実施している。職員自身がプローチ、プランニングすることから始まる制度で、地元のホテルで実際に接客業務に携わった例もある。今後も地域になくはならない金融機関として、時代に合わせた働きやすい職場づくりを柔軟に進め、次の100年に向けた礎としていく。